

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 8日

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 い〜まCrea大治Ⅱ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースを確保できている	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準より多く配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		半期ごとに目標を立て取り組んでいる	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は未実施のため検討していく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内で年間スケジュールを立て研修を行っている	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメント表の更新は年1回、保護者面談は年2回実施し、その上で個別支援計画を作成している 冬季に発達検査を実施している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの状況に合わせ、新たな取り組みの立案を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動時間に合わせたカリキュラムを設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の課題と集団の課題に分け計画の作成をしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		時間の取りづらかった長期休暇期間も実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	支援終了後に全スタッフでの振り返りは難しいため、基本的には翌日に振り返りを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		起きたことの原因を分析し、次に活かすよう努めている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月のケースカンファレンスと半年に1回のモニタリングで見直しの判断を行っている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的に、児発管と児童指導員で参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		基本的には保護者を通して行っているが、必要に応じて直接学校と話すこともある	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状対象者はいないが、受け入れをする場合は主治医と連携が取れるよう体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	保護者を通して情報共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		主な利用が小学生であるため機会としてはないが、事業所の移行がある場合は情報提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	過去に実施していた療育の結果は保護者を通して共有している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		要望があれば検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		助言を行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		加算を算定し実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		要望があれば検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		社内誌を年に数回発行している	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		要望があれば検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		保護者への周知はできていないため、周知方法を検討していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画を立て訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年2回パート研修を実施し、事業所全体で虐待防止に努めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現状対象者はいない 身体拘束が必要だと判断した場合は、所定の手続きを経て実施していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		新規面談の際に保護者への聞き取りを行い対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	共有はしており、事故に繋がらないよう気を付けている	